
remixbattery

RAC-01HB シリーズ 取扱説明書



株式会社リミックスポイント

RAC-01HB シリーズ

取扱説明書

目 次

1. 安全上のご注意	・・・1
2. 使用上の一般的なご注意	・・・2
3. 設置場所に関するご注意	・・・3
4. 表示ラベルと保証に関するご注意	・・・3
5. 製品の概要と特徴	・・・4
6. システムの起動	・・・6
7. 室内リモコンのホーム画面	・・・6
8. 運転モードについて	・・・8
9. 室内リモコンの操作画面	・・・10
10. 運転の停止と再起動	・・・11
11. 運転モードの選択	・・・11
12. 設定画面と設定項目	・・・12
13. システムの動作状況の表示	・・・13
14. さまざまな情報の表示と確認	・・・14
15. 故障かなと思った時は	・・・15
16. こんな時は	・・・15
17. 製品保証とアフターサービスについて	・・・16
【資料】 点検コード一覧	・・・17
主な仕様	・・・19
塩害地設置について	・・・20

本書の内容は予告なく変更される場合があります。
本機の施工終了後に、販売店または施工店から操作説明をお聞ください。

1. 安全上のご注意

このたびは RAC-01HB シリーズをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。本書は RAC-01HB シリーズ蓄電システムの運転、日常の保守、故障について説明しています。ご使用前に本書をよくお読みのうえ、安全に関する内容や機能・特徴を十分にご理解いただき、正しくお使い下さい。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項には、安全に関する重大な内容が含まれます。ご利用される方や他の方々への危害や損害を未然に防止するためにも、必ずお守りください。

安全に関する注意事項およびその表示方法を説明します。

- 本書では、誤った取り扱いをすると生じる危険や損害の程度を区分して、以下のように表示します。

警告	 人が死亡または重傷を負ったり大きな物理的損害を生じる可能性が想定される内容。	注意	 人が傷害を負う可能性および物的損害を生じる可能性が想定される内容。
-----------	--	-----------	--

- 守っていただく内容を、次の記号で示します。

 この記号はしてはいけないこと、禁止事項を示します。記号の中に具体的な禁止行為を示す場合もあります	  この記号は必ず実行しなければならない厳守事項と行為の強制を意味します。
--	--

 警告	
	・ 機器を分解したり、改造しないでください。 ・ 機器の内部には手を触れないでください。 (感電、ショート、故障のおそれがあります)
	・ 使用中に異常や異変を感じたときはすぐに使用を中止し、太陽光発電ブレーカを OFF にしてお買い上げの販売店にご連絡ください。 (火災、感電、ショートのおそれがあります)
	・ 連系運転時には、重要負荷出力用コンセントに電気機器を接続しないでください。 (火災、感電、ショートのおそれがあります)
	・ 電気工事は定められた資格を有する電気工事士が日本の法令や諸規則に従って行います。 ・ 取り付け工事・修理・移動・再設置・破棄などは、お買い上げの販売店にご依頼ください。 (お客様ご自身でこれらの行為を行うと、故障、感電、ショートのおそれがあります)
	・ 重要負荷ブレーカには、灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものは接続しないでください。 (機器の故障、発火のおそれがあります)
	・ 重要負荷出力に、生命に関わる機器 (医療機器等) を絶対に接続しないでください。 ・ 重要負荷出力、瞬断があると不具合を生じる機器 (デスクトップ PC 等) を接続しないでください。 (接続した機器が正しく動作せず身体に安全を損ねたり破損するおそれがあります)
	・ 災害などにより蓄電システムが浸水、水没、変形、破損転倒などした場合、本製品に近づかないでください。 (感電、けがのおそれがあります)
	・ ペースメーカーや植込み型除細動器 (ICD) を使用している方は、装置に触れたり手の届く範囲に近づかないでください。 (ペースメーカーや ICD が誤動作するおそれがあります)
	・ 室内リモコンのスクリーンで定期的に運転状況を確認してください。 (故障、ショート、感電のおそれがあります)

2. 使用上の一般的なご注意

警告



- ・水蒸気、油煙、腐食性ガスなどの排出口近くに本機器を置かないでください。
- ・本機器の近くで薬剤を散布したり、可燃性スプレーを使用しないでください。
(発煙・発火・火災のおそれがあります)



- ・機器のお手入れの際に洗剤や薬剤を使用しないでください。
- ・機器のお手入れの際に配線に無理な力を加えたりひっぱらないでください。
(発煙・発火・火災のおそれがあります)

注意



- ・蓄電システム本体、増設蓄電池ユニットに高温の機器や熱源を近づけないでください。
(蓄電ユニット内部の温度が上昇して、異常停止する場合があります)



- ・蓄電システム本体、増設蓄電池ユニットの上に重量物を置かないでください。また、人が乗ったりぶらさがったりしないでください。
(キャビネットが変形し、故障、けがのおそれがあります)



- ・夏場の運転中は、蓄電システム本体や増設蓄電池ユニットのキャビネットに触れないでください。
(夏場の暑い時期はキャビネットの表面温度が60℃以上になり、触れるとやけどするおそれがあります)



- ・キャビネットの吸排気口に異物(金属、紙、水など)を差し込んだり、吸排気口をふさがしないでください。
- ・植物の繁茂などによって吸排気口がふさがれることのないように点検をしてください。
(排熱できなくなり、キャビネット内部の温度が上昇して異常停止する場合があります)



- ・接着剤、シンナー、ベンジン、アルコール、その他揮発性のものを蓄電システム本体、増設蓄電池ユニットの側に置かないでください。
(製品の変色、劣化、故障の原因になります)



- ・スタンバイモード(コールドスタンバイ、ホットスタンバイ)の状態でも長時間放置しないでください。
- ・室内リモコンに点検コードが表示された状態で放置しないでください。
(蓄電池が使用できなくなり、有償電池交換となる可能性があります)



- ・蓄電池システムの法定耐用年数(6年)の間、善良な管理者として本システムを管理し、故障や不具合が生じたときは速やかに修理等の手続きを行ってください。



- ・取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。
- ・取扱説明書はいつでも参照できる場所に保管してください。
(誤った使い方により故障や事故の原因となる可能性があります)



- ・降雪、落雪等で給排気口がふさがれないように、適切な防雪処置を行ってください。
- ・装置の周辺で異常が生じないように適切な管理を行ってください。
(不適切な管理は故障や事故の原因となる可能性があります)



- ・室内リモコンの画面にソフトウェアの更新が表示されたら、必ず更新を実施してください。
(放置すると機械の劣化を招いたり正常に動作しなくなる恐れがあります)
※ソフトウェアの自動更新にはインターネットへの接続が必要です。



- ・蓄電システムには高圧、大容量の電気が蓄えられています。取り扱いに注意してください。
- ・室内リモコンはお子様の手が届かないところに設置してください。
(誤った使い方により感電、ショートする恐れがあります。)



- ・室内リモコンのスクリーンをボールペンやピンなどの尖ったもので操作しないでください。
- ・室内リモコンに水をかけたり濡れた手で操作しないでください。
(故障や事故の原因となる可能性があります)

3. 設置場所に関するご注意

3-1. 設置できない場所

本機は、一般住宅およびそれに準ずる環境での使用を前提として設計されています。船舶などの移動体への設置や工場等の産業用の利用はできません。

また、以下に記載する場所には設置しないでください。

■蓄電システム本体・増設蓄電池ユニット

- 標高 2,000m より高いところ
- 本書で定めている重塩害地域
- 過度の水蒸気、油蒸気、塵埃、塩分、揮発性物質、可燃性腐食性およびその他の有害ガス、化学薬品や火気にさらされるところ
- 指定の取付けスペースを確保できないところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 浸水の恐れがあるところ、電界の影響が大きいところ
- 近隣にアマチュア無線のアンテナがあるところ
- 指定の温度範囲以外のところ
インバータ：-25 ~ 45℃
蓄電池モジュール：-10 ~ 55℃

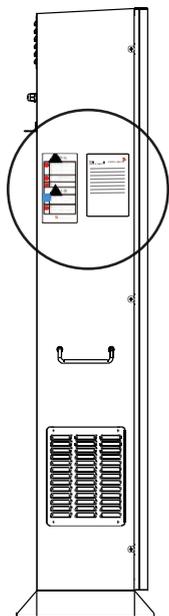
■室内用リモコン

- 屋外
- 温度変化が激しいところ
- 過度の水蒸気、油蒸気、塵埃、塩分、揮発性物質、可燃性腐食性およびその他の有害ガス、化学薬品や火気にさらされるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水濡れのおそれがあるところ
- 操作が困難なところ、乳幼児の手が届くところ
- 指定の温湿度範囲以外のところ
温度：-20 ~ 70℃
湿度：25 ~ 80% RH
(ただし結露・氷結がないこと)

3-2. 「重塩害地域」での使用制限

この蓄電池システムは、「重塩害地域」に設置することはできません。重塩害地域とは、海岸線からおおむね 500 メートル以内の地域で、海岸から飛散した海水が直接当たる場所、もしくは同等の塩害が発生する場所です。海からの風の強弱、気候等により塩害の発生状況は地域によって異なります。塩害地域に区分される地域での使用は可能ですが、使用に際してはできるだけ塩害を避ける設置をしてください。詳細については巻末資料「塩害地設置について」を参照してください。

4. 表示ラベルと保証に関するご注意



4-1. 本体表示ラベル

- ・蓄電システム本体キャビネットの左側面に、警告ラベル、性能ラベルが貼られています。これらの表示ラベルを本体キャビネットからはがさないでください。
- ・警告ラベルには本機の扱いに関する重要な警告が記載されています。
- ・性能ラベルには、本機の基本仕様が記載されています。

4-2. 製品保証について

- ・施工完了日や販売店・施工店名が記入された保証書をお手元に保管してください。
- ・製品のメーカー保証期間は施工完了日から 10 年経過するまでです。
- ・有償にて 5 年間の延長保証（保証制限あり）をお申込みいただくことができます。
- ・販売店・施工店から弊社に対して設置完了報告書が提出されます。弊社では、アフターサービスや製品保証のためにお客様情報と製品製造番号等を登録して管理します。
- ・製品保証については、「17. 製品保証とアフターサービスについて」をお読みください。また、保証の詳細は「製品保証ポリシー」をお読みください。

5. 製品の概要と特徴

5-1. 製品の概要

「RAC-01HB シリーズ」は、太陽光発電システムと組み合わせて電気を活用する蓄電システムです。太陽光発電パネルで発電した電気を蓄電池に充電して、発電しない時間帯に自家消費したり、安価な夜間電力を蓄電池に充電して昼間の電力使用ピーク時にシフト使用することができます。クリーン・エネルギーを経済的に活用する環境に優しいハイブリッド型蓄電システムです。

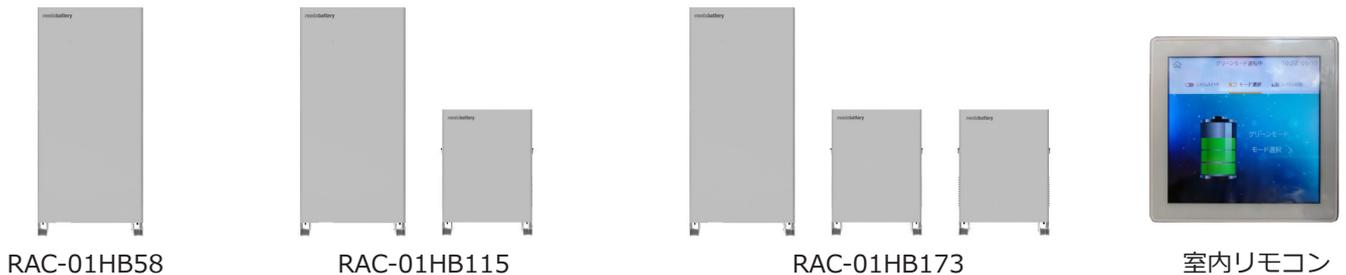
5-2. 製品の特徴

- ・ 停電時には、自動的に自立運転に切り替わり蓄電池から電力を供給します。
- ・ ライフスタイルや目的に合わせて、運転モードを選択・設定できます。
- ・ 100V の機器だけではなく 200V の家電製品にも対応しています。
- ・ 屋外設置でも安心な防水・防塵設計です。(IP65 規格準拠)
- ・ 高性能・長寿命の蓄電池を搭載し、太陽光で発電した電気を自家消費することで高い節電効果を発揮します。
- ・ 蓄電システム本体はインバータと蓄電池で構成され、太陽光発電パネルを直接接続することができます。

5-3. 製品の構成

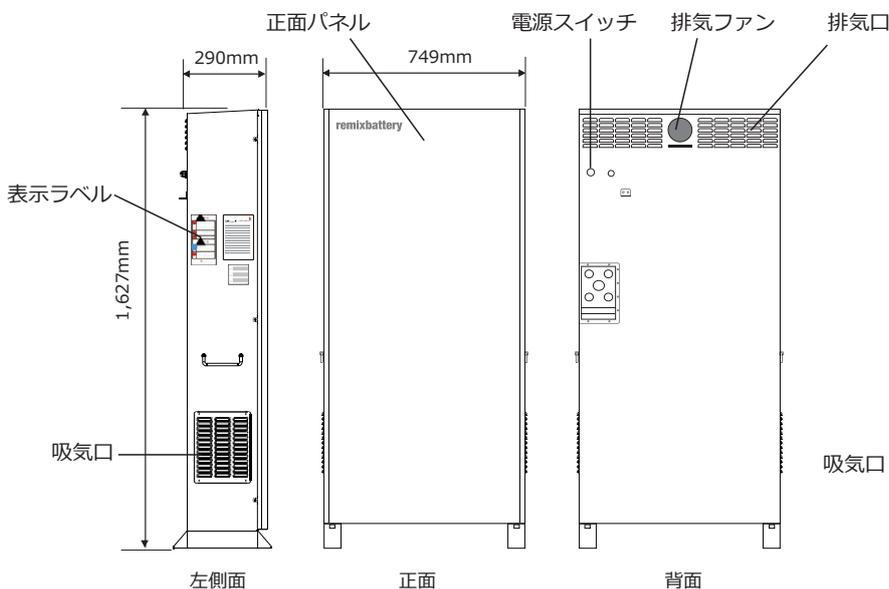
RAC-01HB58 蓄電システムは、蓄電システム本体と室内リモコンで構成されます。蓄電システム本体には、ハイブリッド型インバータとリン酸鉄リチウムイオン蓄電池が内蔵されています。

RAC-01HB115 は蓄電システム本体と 1 台の増設蓄電池ユニット、RAC-01HB173 は蓄電システム本体と 2 台の増設蓄電池ユニットで構成されます。それぞれ 1 台の室内リモコンが付属します。

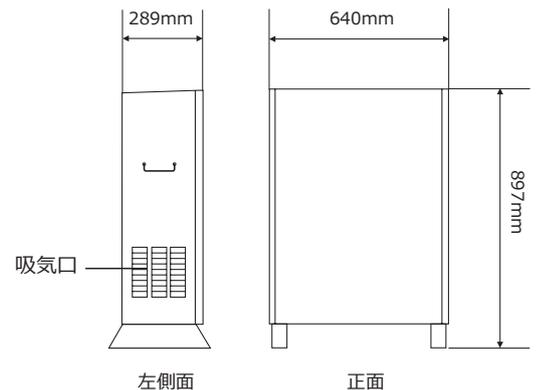


5-4. システムの外観と各部の名称

■蓄電システム本体



■増設蓄電池ユニット

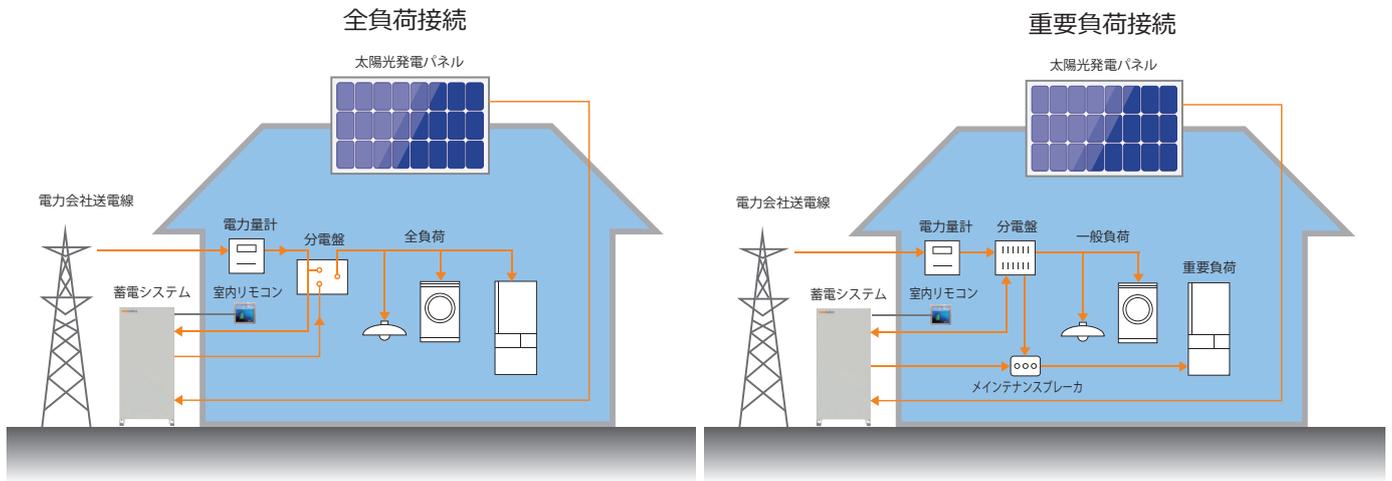


※排気ファンがつくのは、HB115/173 です。HB58 には排気ファンはつきません。

5-5. 全負荷接続と重要負荷接続

「RAC-01HB シリーズ」は、全負荷接続・重要負荷接続の2種類の負荷接続が可能です。

- 全負荷接続： 負荷容量が6kWより少ない場合に適します。停電時にも全負荷に電気を供給します。
- 重要負荷接続： 負荷容量が6kWより大きい場合は、分電盤で一般負荷と重要負荷に出力を分けます。一般負荷は連系運転で使用します。重要負荷は連系運転、自立運転共に使用できます。



■ 蓄電システム

「RAC-01HB シリーズ」蓄電システムの本体には、リン酸鉄リチウムイオン電池とインバータが内蔵されており、太陽光発電パネルをダイレクトに接続することができます。太陽光発電パネルまたは電力会社の電力を蓄電し、必要に応じて放電します。太陽光発電パネルで発電した電力が余ったら、電力会社に売電することもできます。

■ 太陽光発電パネル

太陽光を受けて発電します。発電した電力は蓄電システム本体のインバータを通じて蓄電池に送られます。蓄電システム本体に接続可能な太陽光発電パネルは、RAC-01HB 58では2回路、RAC-01HB115/173は3回路です。

■ 電力会社送電線

太陽光発電パネルから十分な電力を得られない時は、不足する電力を電力会社から購入します（買電）。太陽光発電パネルから十分な電力を得られるときは、余剰電力を電力会社へ送ります（売電）。

■ 電力量計

買電用と売電用の2種類があり、電力会社から買った電力（買電）と、電力会社に売った余剰電力（売電）を計量します。

■ 分電盤

契約ブレーカ、漏電ブレーカ、連系ブレーカ、メンテナンスブレーカ、特定負荷ブレーカ、特定負荷分岐ブレーカを内蔵しています。

■ メンテナンスブレーカ

特定負荷ブレーカへの電力供給元（蓄電システム本体／電力会社）を切り替えるスイッチです。

■ 一般負荷（全負荷）

一般負荷は電力会社に接続されて、システムから独立した一般負荷用の電源です。
全負荷は蓄電システムを利用した電力を使用可能な負荷用の電源です。

■ 重要負荷

蓄電システムを利用した電力が使用可能な特定負荷用の電源です。停電時でも蓄電池の電気を利用できます。

■ 室内リモコン

タッチ式のカラー液晶を搭載し、蓄電池の充電・放電状態や運転状態の確認や、蓄電システム本体の設定を行います。蓄電システム本体の電源スイッチがオフの時は、何も表示されません。

6. システムの起動

蓄電システム本体キャビネットの背面にある電源スイッチ・ボタンを押して、システムを起動します。電源スイッチ・ボタンが押し込まれている状態が電源スイッチ・オンです。

蓄電システムが起動すると、スタンバイ状態からシステムの起動チェック（自己診断）を開始します。起動チェックに要する時間は3～5分です。

起動チェックが終了してシステムが正常に起動すると、室内リモコンに「ホーム画面」が表示されます。

7. 室内リモコンのホーム画面

7-1. ホーム画面の表示

室内リモコンでは、蓄電システムの運転状況を確認したり、各種の設定をします。

操作は室内リモコンのスクリーンにタッチして行います。通常の運転時には以下のホーム画面が表示されます。一定時間操作が行われないと、スクリーンの表示は消えます。表示が消えたスクリーンにタッチすると再び表示されます。



1	運転モードと状態表示	現在の運転モード（またはシステムの状態）
2	日時	現在の日付と時刻
3	通信状態と警告マーク	室内リモコンと蓄電システムの通信状態を「通信正常」と「通信中断」のいずれかの状態で表示します。システムにエラーが発生すると警告マークが赤色で表示されます。
4	太陽光発電電力値	蓄電システムに接続している太陽光発電パネルの発電電力値
5	売電・買電電力値	電力会社との売電・買電の電力値
6	蓄電状況	蓄電池への出力値と充電量（SOC ※）
7	消費電力値	消費電力の合計値

※ SOC=State Of Charge、蓄電池の充電率を表します

7-2. 運転モードと状態の表示

ホーム画面に表示される「運転モードと状態表示」には、現在の運転モードまたはシステムの状態が表示されます。

● 運転モード表示

運転モードとして表示されるのは、以下の5つのモードです。

- ・ 停電モード運転中 停電により自立運転しています
- ・ グリーンモード運転中 「グリーンモード」に設定されて系統連系運転中です
- ・ 経済モード運転中 「経済モード」に設定されて系統連系運転中です
- ・ 安心モード運転中 「安心モード」に設定されて系統連系運転中です
- ・ 手動モード運転中 「手動モード」に設定されて系統連系運転中です

●システム状態表示

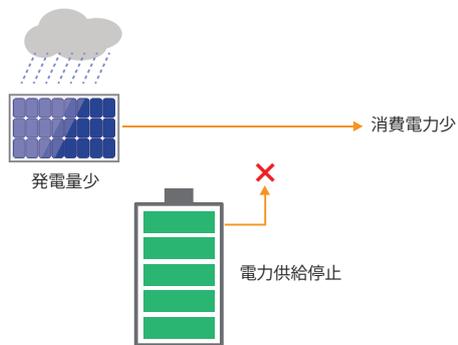
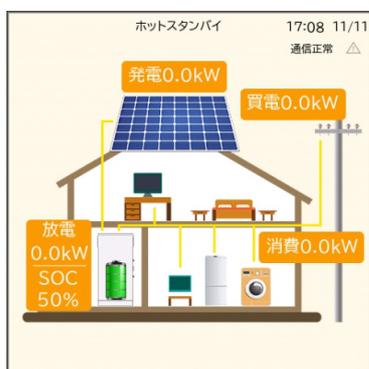
ホーム画面に表示されるシステムの状態とその意味は以下の通りです。

1	スタンバイ	待機中です
2	システムチェック	システムの起動チェック（自己診断）を行っています
3	ホットスタンバイ	電力供給停止中です
4	コールドスタンバイ	電力供給停止中です
5	エラー情報（故障）	システム・エラーの名称を表示します。システムは停止しています
6	システム・オフ	システム停止中です
7	スクリーンが消えている	室内リモコンのスクリーンがスリープ状態になっています また蓄電システム本体の電源スイッチが入っていないと何も表示されません

7-3. コールド・スタンバイとホット・スタンバイ

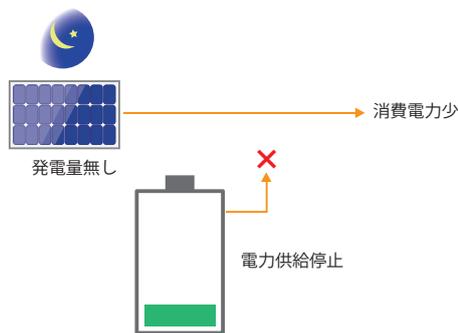
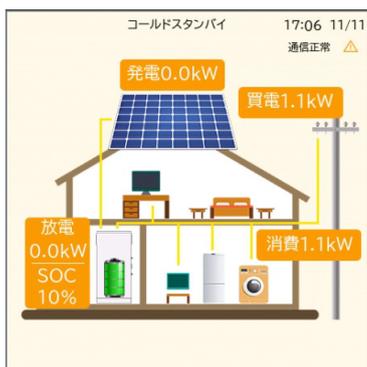
●ホットスタンバイ

太陽光発電パネルの発電量が少なく、蓄電池に十分な電力量があり、消費電力が少ない（100W 以下）場合にシステムはホットスタンバイ状態になり蓄電池からの電力供給を停止します。消費する電力量が多くなった際には、通常運転に切り替えて蓄電池からの電力供給を開始します。



●コールドスタンバイ

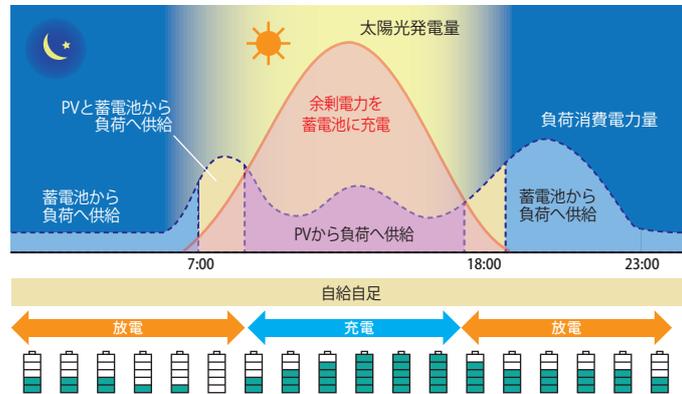
夜間などで太陽光発電パネルの発電がなく、蓄電池に十分な電力量がない（運転モードで設定された最小容量以下）場合に、システムは蓄電池の消耗を可能な限り少なくする運転に切り替わります。



8. 運転モードについて

8-1. 停電モード

停電を検知すると停電モードに切り替えて自立運転を開始します。自立運転時には、蓄電池から重要負荷ブレーカに電力を供給します。太陽光発電パネルで発電した電気の供給先は、回路の構成により全負荷の場合と重要負荷の場合があります。



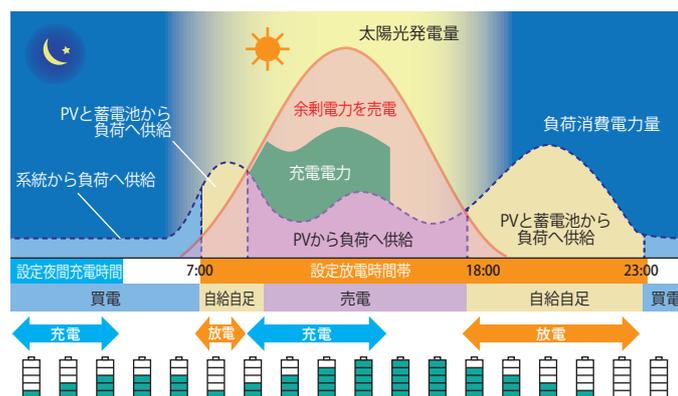
8-2. 停電時の過負荷エラーの復旧手順

重要負荷ブレーカの定格電流はRBC-01HB58では15A、RAC-01HB115/173では30Aです。重要負荷ブレーカで定格を超える電力が使用されると、自立運転負荷保護エラーでシステムは給電を停止します。エラーが発生した時は、以下の手順で復旧してください。

1. 室内リモコンに「自立運転負荷保護」エラーが表示されていることを確認する
2. 重要負荷で使用する負荷（電気製品）を減らす
3. 室内リモコンで「自立運転負荷保護」エラーの ボタンにタッチしてエラーを消去する
4. システムが正常に再起動することを確認する

8-3. グリーンモード

グリーンモードでは、昼間に太陽光発電パネルで発電した電力を消費し、余った電力を蓄電池に充電します。一般的に電力消費の大きい夜と朝のピーク時に、蓄電池に貯めておいた電力を自家消費します。太陽光発電パネルで十分な発電ができない時は蓄電池から放電します。電気料金が割安な深夜時間帯にシステムから蓄電池に充電することもできます。



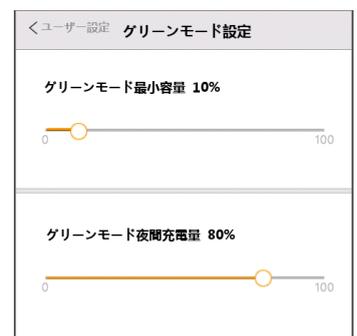
● グリーンモードの設定項目

■ グリーンモード最小容量（初期値 10%）

蓄電池の最小残量。蓄電池が放電して、設定した最小容量になると放電を停止します。この時太陽光発電パネルからの給電が無ければコールドスタンバイ状態になります。

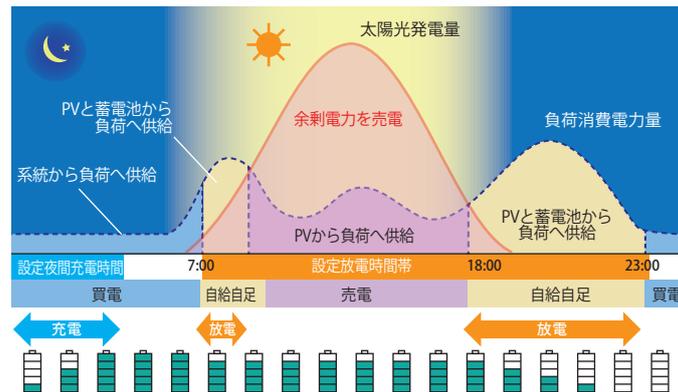
■ グリーンモード夜間充電量（初期値 50%）

夜間の充電時間帯に蓄電池の何%まで充電するかを設定します。経済モード・安心モードでは100%まで充電し、その設定は変更できません。グリーンモードでは夜間の充電量の上限を設定できます。



8-4. 経済モード

経済モードでは、電気料金が割安な夜間に蓄電池に充電し、電気料金の割高な日中に蓄電池から放電してシフト消費します。昼間と夜間の電気代の差が大きいほど経済的なモードです。昼間は太陽光発電パネルが発電する電力を消費し、余剰電力がある間は蓄電池からの放電は行われません。系統から蓄電池への充電は、設定した時間帯に行われます。



● 経済モードの設定項目

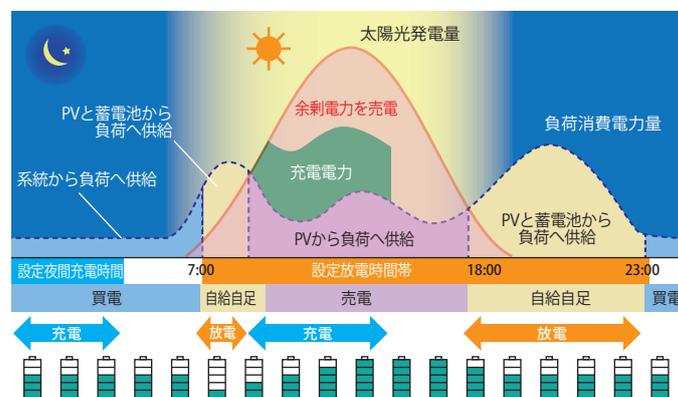
■ 経済モード最小容量 (初期値 10%)

蓄電池の最小残量を設定します。設定可能範囲は10%から100%です。蓄電池が放電して、設定した最小容量になると放電を停止します。この時太陽光発電パネルからの給電が無ければコールドスタンバイ状態になります。



8-5. 安心モード

安心モードでは、緊急時に備えて一定量の蓄電池残量を確保します。基本的な運転動作はグリーンモードと同じですが、蓄電池の残量を指定してそれ以上消費しないように設定します。



● 安心モードの設定項目

■ 安心モード設定 (初期値 50%)

蓄電池の最小残量を設定します。初期値は50%で、設定可能範囲は30%から100%です。蓄電池が放電して設定した最小残量になると放電を停止します。

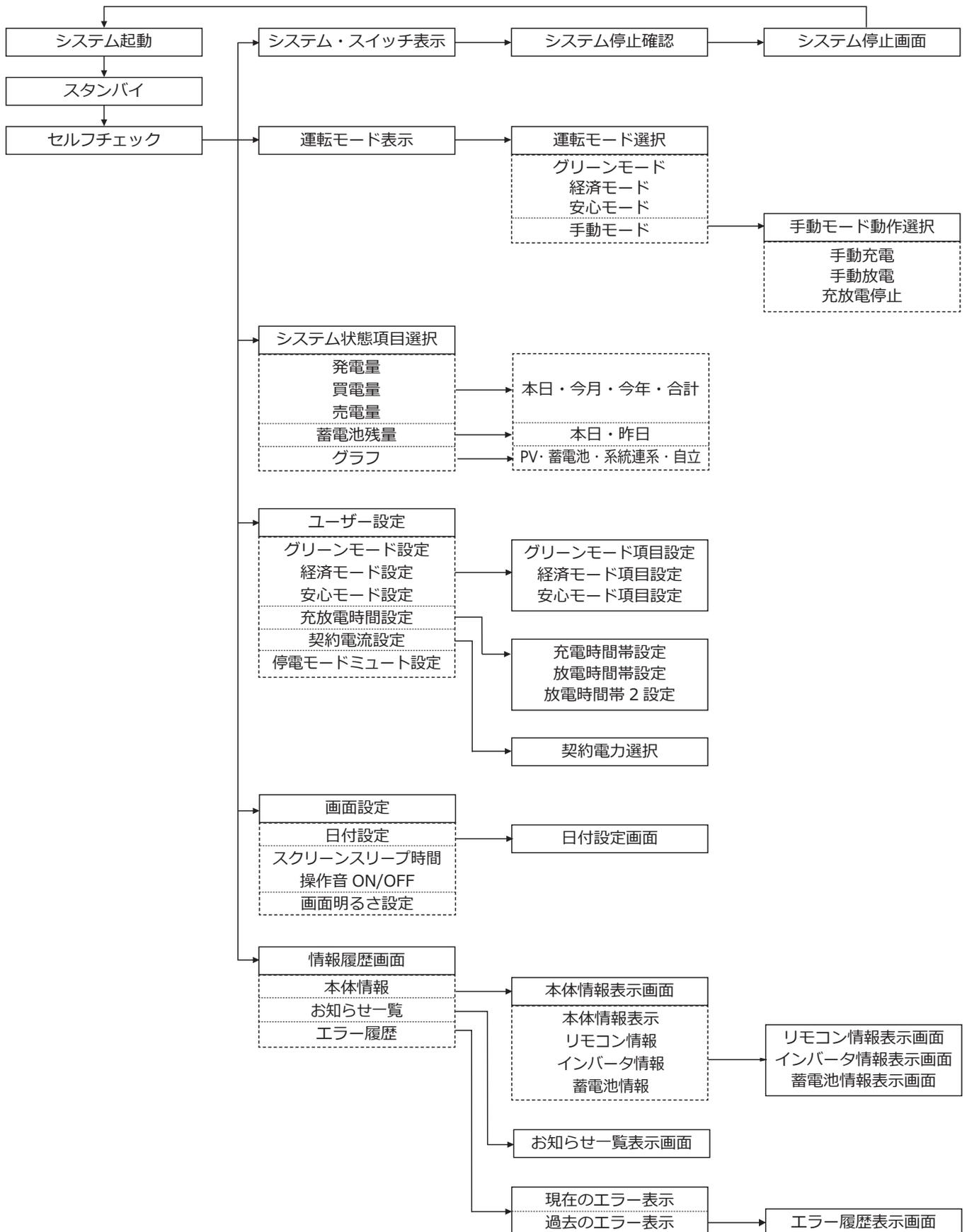


8-6. 手動モード

手動モードは、保守・メンテナンス用のモードです。手動充電、手動放電、充放電停止を行うことができます。システムの設置・保守の資格を持つ方以外は、手動モードを選択しないでください。

9. 室内リモコンの操作画面

室内リモコンの画面操作の流れを以下に示します。



10. 運転の停止と再起動

10-1. 運転の停止

1. ホーム画面にタッチして運転モード表示画面に切り替えます。
2. 画面上部の [システム・スイッチ] にタッチして、システムスイッチ画面に切り替えます。
3. システムスイッチ画面 (システムオン状態) の中央のオレンジ色のボタンにタッチすると、システム運転停止確認が表示されます。[ok] にタッチするとシステムの運転は停止します。[キャンセル] にタッチするとシステムスイッチ画面に戻ります。

システム・スイッチ・オン



10-2. システムの再起動

1. システムスイッチ画面 (システムオフ状態) の中央の白色のボタンにタッチすると、システムが再起動します。
2. システムスイッチ画面 (システムオン状態) でシステムチェック (自己診断) が開始されます。システムチェックの進行が分かるように、スクリーン上部に残り秒数が表示されます。
3. システムチェックの途中でホーム画面が表示されます。システムチェックが終了すると、ホーム画面上部に運転モードが表示されます。

システム・スイッチ・オフ



10-3. システムのリセット

システムを一度オフにして再起動することで、システムがリセットされます。システムをリセットしても、運転モードや基本設定は変更されません。

11. 運転モードの選択

11-1. 運転モード表示画面

1. ホーム画面にタッチして運転モード表示画面に切り替えます。
2. 運転モード表示画面で、モード選択の横の [>] にタッチします。
3. 運転モード選択ポップアップが表示されます。



11-2. 運転モードの選択

1. 「グリーンモード」「経済モード」「安心モード」から運転モードを選択します。
2. 画面上部の運転モード表示が選択したモードに切り替わることを確認します。
3. ポップアップの外側にタッチして運転モード表示画面に戻ります。
4. スクリーン左上のホームボタン (家の形のボタン) にタッチしてホーム画面に戻ります。



注意



・手動モードはシステムの保守・メンテナンス用のモードです。システムの設置・保守の資格を持つ方以外は手動モードを選択しないでください。

12. 設定画面と設定項目

12-1. ユーザー設定画面

ユーザー設定画面では、以下の設定を行います。

●各モードの設定項目

最小容量や夜間充電量などの、各モードごとの設定を行います。モードごとの設定については7-8ページを参照してください。

■充電時間帯設定

充放電時間帯設定では、系統からの充電開始・停止時刻と、蓄電池からの放電開始・停止時刻を設定します。充電時間帯設定は、グリーンモード、経済モード、安心モードのすべてのモードで有効です。充電時間帯はご契約されている電力会社の深夜電力時間帯（電気料金が安い時間帯）に合わせて設定してください。

- ・充電時間帯と放電時間帯は重複しないように設定してください。重複した場合は充電が優先されます。
- ・充放電時間帯の開始時刻と停止時刻を同じ時間に設定すると、それまでの設定が無効になります。
- ・充放電時間帯の範囲は「開始時刻 ≤ 充放電時間帯 < 停止時刻」となります。例えば充放電時間帯を 9:00 から 10:00 に指定した場合、停止時刻である 10:00 は充放電時間外となります。
- ・放電時間帯は 1 日に 2 回まで設定できます。

■充電時間帯設定の初期値

充電開始/停止 23:01 / 07:00

放電開始/停止 07:01 / 23:00

■契約電流

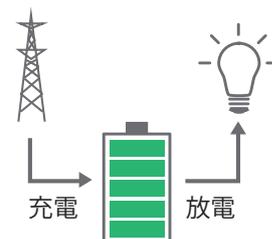
電力会社との契約電流が変更になった場合は、契約電流の設定を変更してください。間違っていると分電盤のブレーカが誤動作したり、蓄電池の充放電に悪影響をおよぼす可能性があります。

- ・[契約電流] ボタンにタッチして契約電流設定画面に進みます。
- ・ポップアップ画面に現在の設定値と、新しい契約電流の選択ボタンが表示されます。
- ・新しい契約電流を選択して、ポップアップの外側にタッチして設定画面に戻ります。
- ・初期値は RAC-01HB58 は 30A、HB115/173 は 60A です。

■停電モード・ミュート設定

停電が発生した時に、自立運転に切替ったことをお知らせするために 4 秒毎に通知音が鳴ります。この通知音を消音（ミュート）することができます。

ベルのマークが表示されている時は通知音が鳴ります。ベルのマークにタッチするとマークに斜線が引かれて消音されます。



通知音が鳴る 消音（ミュート）



12-2. 画面設定画面

画面設定画面では、以下の設定を行います。

■日付と時刻

日付と時刻の設定・変更は以下の手順で行います。

1. 日付時刻表示の右側の [>] ボタンにタッチして、日時設定画面を表示します。
2. 日時設定画面で年月日時分のそれぞれの数字を上下にスライドさせます。
3. 正しい年月日時分が表示できたら、スクリーン右上の [OK] ボタンにタッチします。



■スクリーンスリープ時間

室内リモコンは一定時間操作を行わないとスクリーンの表示を消してスリープ状態になります。スリープするまでの時間を30秒、1分、3分、5分から選択します。

■操作音オン・オフ

室内リモコンのスクリーンにタッチした時の操作音のオン・オフを指定します。スイッチがオレンジ色で表示されている時は操作音が鳴り、グレーで表示されている時は操作音はなりません。スイッチのマークにタッチするとオン・オフを切り替えることができます。操作音の音量は固定で変更はできません。

■画面の明るさ

スライダーの上の白いボタンにタッチしたまま左右にスライドさせると、室内リモコンのスクリーンの明るさを変更することができます。

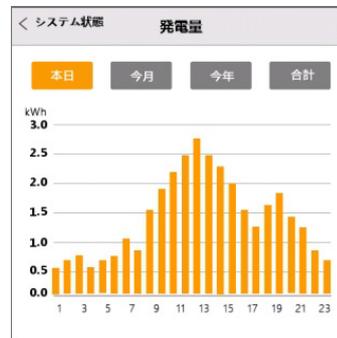


13. システムの動作状況の表示

蓄電システムの動作状況を示す各種のパラメータを表示して、システム状態を確認することができます。表示するパラメータは、発電量、買電量、売電量、蓄電池残量、太陽電池 (PV1、PV2、PV3) の発電状況、蓄電池の動作状況、電力会社 (系統) からの供給状況、CT 動作、自立運転の状況などです。

■発電量、買電量、売電量

- ・ [本日] を選択すると、その日の発電量、買電量、売電量を、1時間ごとの電力量として kWh 単位で表示します。24時間の電力量の変化を確認できます。
- ・ [今月] を選択すると、その月の発電量、買電量、売電量を、1日ごとの電力量として kWh 単位で表示します。月間の電力量の変化を確認できます。
- ・ [今年] を選択すると、その年の発電量、買電量、売電量を、1月ごとの電力量として kWh 単位で表示します。年間の電力量の変化を確認できます。
- ・ [合計] を選択すると、日・月・年単位での発電量、買電量、売電量の累積を kWh 単位で表示します。



項目	値
本日累計	8.3kWh
今月累計	356.0kWh
今年累計	4754.0kWh
設備累計	12345.0kWh

■蓄電池残量

- ・ [当日] を選択すると、その日の蓄電池の残量を1時間ごとのパーセンテージ (0 ~ 100%) で表示します。24時間の蓄電池の残量の変化を確認できます。
- ・ [昨日] を選択すると、前日の蓄電池の残量を1時間ごとのパーセンテージ (0 ~ 100%) で表示します。24時間の蓄電池の残量の変化を確認できます。



■ グラフ

太陽電池（PV1、PV2、PV3）の発電状況、蓄電池の動作状況、電力会社（系統）からの供給状況、CT動作、自立運転の状況を表示します。システムの保守・メンテナンスに利用します。



14. さまざまな情報の表示と確認

14-1. 基本情報の表示

情報履歴画面では、システムの保守・メンテナンスに必要な各種の情報を表示します。また、エラー履歴画面ではエラー状況の確認ができます。

■ 本体情報

- ・ 本体の機種名、室内リモコンのソフトウェアのバージョン、インバータの製造番号やシステムの運転時間を表示します。登録番号は、PocketWiFi/LAN によってインターネットに接続する場合に与えられる、システム固有の番号です。
- ・ インバータ情報では、インバータの製造番号、DSP と ARM（いずれもインバータの演算装置）のバージョン、システムの運転時間を表示します。
- ・ 蓄電池情報では、マスター蓄電池の製造番号を表示します。次ページに進むと増設用蓄電池の製造番号を表示します。
- ・ 本体情報はシステムの保守・メンテナンスに利用します。

■ お知らせ一覧

- ・ お知らせ一覧では、システムに記録されている操作の内容と操作日時を表示します。
- ・ システムの保守・メンテナンスに利用します。

■ エラー履歴

- ・ エラー履歴を選択すると「現在のエラー」と「履歴のエラー」の表示選択が表示されます。
- ・ 「履歴のエラー」では、エラーが発生した日時とエラーの内容、点検コードが表示されます。
- ・ 「現在のエラー」には、解消されていないエラーが表示されます。エラーが解消されると一覧から消えます。

情報履歴		本体情報
機種名	J1ESS-HB58	
登録番号	0123401234	
リモコン情報	>	
インバータ情報	>	
蓄電池情報	>	

お知らせ一覧		
1	20-01-01 08:08	システム停止
2	20-01-01 09:09	システム運転
3	20-01-01 10:10	経済モード切換え
4	20-01-01 11:11	グリーンモード切換え
5		
6		

履歴のエラー		
1	20-01-01 08:08	ハードウェア過電流保護 点検コード: IE001
2	20-01-01 09:09	主電源切断保護 点検コード: IE002
3	20-01-01 10:10	主電源電圧保護 点検コード: IE003
4	20-01-01 11:11	主電源周波数保護 点検コード: IE004
5		
6		

14-2. エラー表示と復旧の手順

エラー履歴画面で「現在のエラー」を選択すると、まだ復旧処理されていないエラーが表示されます。エラーの内容と点検コードが表示されます。巻末の点検コード表に従ってエラーに対処してください。

■ 自立運転過負荷保護エラー

「自立運転過負荷保護」エラーについては、「8-2. 停電時の過負荷エラーの復旧手順」を参照してください。

エラー履歴		現在のエラー
1		母線電圧保護 点検コード: IE006
2		PV電圧保護 点検コード: IE005
3		

15. 故障かなと思った時は

症 状	原因と対処方
本体からジージー音が聞こえる	ジージー、チリチリ、チャリチャリという音は、製品内部の回路の動作音です。
本体からブーン音が聞こえる	ブーンという音は、本体の排気ファンが回転する音です。
本体の中で何かがカチャンと鳴る	カチャン、ガシャンという音は製品内部で機械部分が動作する音です。運転開始時と停止時に発生します。
本体からブザー音が聞こえる	ブザーの音はバッテリー警告音です。室内リモコンの表示を確認して、表示されたメッセージに従って処置してください。
ホーム画面の発電、充電、消費電力量の合計が合わない	電力量は常に変動するため、条件によって合計値が合わなくなることがあります。発電量や消費電力は、環境条件によって瞬間的に大きく変動することがあります。
アンペアブレーカが頻繁に落ちる	60 アンペアまでのブレーカが設置されているご家庭で、ブレーカがひんぱんに落ちる場合は販売店または施工店にご連絡ください。
室内リモコンが表示されない	停電時に室内リモコンが表示されなくなるのは、蓄電池の残量不足による可能性があります。停電時以外でスクリーンにタッチしても何も表示されない時は、販売店または施工店にご連絡ください。
自立運転時にエラーが表示されて運転が停止した	重要負荷に接続している機器の消費電力が大きすぎる可能性があります。「停電時の過負荷エラーの復旧手順」を参照してください。
ラジオ、テレビの受信状態が悪い	テレビやラジオなどの機器は、蓄電システムや室内リモコンによって受信障害を引き起こすことがあります。蓄電システムから3メートル以上離してください。
蓄電残量があるのに放電されない	バッテリーマネジメントシステムが蓄電池を保護するために、残量が0パーセントになる前に放電を停止する場合があります。

16. こんな時は

■長期不在の場合

長期間ご不在となる場合は、運転モードを「経済モード」「グリーンモード」「安心モード」のいずれかに設定し、蓄電システム用分電盤の連系ブレーカと住宅用分電盤の契約ブレーカを ON の状態にしてください。

■台風、風水害による被害のおそれがある場合

台風や風水害によって機器が水没する恐れがある場合は、あらかじめ室内リモコンのシステム・スイッチおよび本体のスイッチをオフにして蓄電システムの運転を停止して、連系ブレーカをオフにしてください。詳しくは販売店または施工店にご相談ください。

■システム運転中に水没してしまった場合

万一システムの運転中に水没した場合は、室内リモコンのシステム・スイッチをオフにして直ちに販売店または施工店にご連絡ください。感電する恐れがありますので機器に近づいたり触れたりしないでください。

■地震による被害があった場合

万一地震によって蓄電システム本体または増設蓄電池ユニットが転倒した場合は、室内リモコンのシステム・スイッチおよび本体のスイッチをオフにして蓄電システムの運転を停止して、連系ブレーカをオフにしてください。

地震の規模によっては蓄電システム本体または増設蓄電池ユニットが転倒していなくても内部で破損が生じている可能性があります。異常を感じた時は販売店または施工店にご相談ください。

17. 製品保証とアフターサービスについて

17-1. 製品に対するメーカー保証

- ・保証書に施工完了日・販売店または施工店名、製品番号が記入されていることを確認してお手元に保管してください。
- ・製品に起因する故障や不具合、蓄電池容量が定格（初期実効容量）の60%未満になった場合は無償で修理もしくは交換いたします。
- ・保証期間は保証書および施工完了報告書に記載された施工完了日から10年経過するまでです。
- ・保証には条件があります。詳細は製品保証ポリシーをご確認ください。

17-2. 自然災害に対する保証

- ・保証期間中に落雷、雪災、風災、水害等の自然災害で対象製品に故障や不具合が起きた場合には無償で修理もしくは交換いたします。
- ・地震、津波、火山の噴火による故障や不具合は保証の対象となりません。保証の詳細は製品保証ポリシーをご確認ください。

17-3. 補修部品について

- ・当社では製品の補修用性能部品を製造終了後6年間保有します。
- ・当社の品質基準に従って再利用部品・代替部品を修理・交換に使用する場合があります。

17-4. 修理を依頼されるときは

室内リモコンのシステム・スイッチおよび本体のスイッチをオフにして蓄電システムの運転を停止し、販売店または施工店に修理をご依頼ください。お客さまご自身の修理は大変危険ですので絶対に行わないでください。

- ・保証期間中の修理
製品保証ポリシーに従って修理・交換いたします。
- ・保証期間が過ぎている場合
修理すれば製品を使用できる場合には、お客さまのご希望により有償で修理いたします。
- ・修理料金・送料について
保証期間内に無償修理もしくは交換の対象となる場合、当社では交換部品代と送料（回収費用を含む）を負担するものとし、技術料・出張料や専用車両借料などの諸費用・経費は有料となります。また、北海道・本州・四国・九州を除くすべての島しょでは、交換部品の送料はお客様のご負担となります。

17-5. 転居や製品を移設するとき

本製品を設置した施設や家屋等の売買・譲渡に伴って製品の所有者が変更となる場合は、登録情報を更新することで保証を継続します。詳細は弊社または販売店にご相談ください。

転居などによって本機を移設する場合に、電力会社への連絡が必要になる場合があります。また、移設には有資格者による工事が必要となります。必ずお買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

移設によってメーカー保証は無効になります。詳細は製品保証ポリシーをご確認ください。

17-6. 製品を廃棄するとき

製品を廃棄する場合に、電力会社への連絡が必要になる場合があります。また、製品の取り外しには有資格者による工事が必要となります。必ずお買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

点検コード一覧

室内リモコンに表示される点検コードの意味と対処方法を記載します。対処方法に記載したシステム操作の中で、「再起動」とは室内リモコンでシステム・オフにして再度システム・オンにする操作を言います。エラーからの復旧に分電盤の操作を伴う場合があります。エラーで家の中の電気が使えなくなった場合は、販売店または施工店にご連絡ください。

■インバータ・エラー

コード	エラー内容	対処方法
IE001	ハードウェア過電流保護	1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE002	主電源切断保護	1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE003	主電源電圧保護	1. 室内リモコンの「システム状態」で、電圧が正常範囲内であるか確認してください。 2. システムを再度起動してください。 3. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE004	主電源周波数保護	1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE005	PV 電圧保護	1. 室内リモコンの「システム状態」で、最大入力電圧が 450V を超えていないか確認してください。超えている場合はただちに販売店または施工店にご連絡ください。 2. システムを再度起動してください。 3. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE006	母線電圧保護	1. 室内リモコンの「システム状態」で、最大入力電圧が 450V を超えていないか確認してください。超えている場合はただちに販売店または施工店にご連絡ください。 2. システムを再度起動してください。 3. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE007	蓄電池電圧保護	1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE009	DCI 過電流保護	
IE010	DCV 過電圧保護	
IE011	ソフトウェア過電流保護	
IE012	RC 過電流保護	
IE013	ISO 保護	
IE014	過熱保護	1. 蓄電システムの吸排気口が異物や堆積物でふさがれていないか確認してください。また、周囲が高温になっていないか確認してください。 2. 環境温度が正常運転範囲内である場合は、再起動してください。 3. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE015	蓄電池逆接続保護	1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE016	自立運転過負荷保護	1. 自立運転モードで負荷合計が許容範囲内か確認してください。負荷が大きすぎる時は、電気製品をコンセントから外してください。 2. 負荷を減らしたら再起動してください。 3. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。

コード	エラー内容	対処方法
IE018	蓄電池容量不足	<ol style="list-style-type: none"> 1. 連系運転している場合は、蓄電システムで設定した充電時間帯になるまでお待ちください。すぐに充電したい場合は、室内リモコンで手動モードに切り替えて手動充電を行ってください。 2. 自立運転モードでは、最小容量値が 10%（初期設定値）以下になっていないか確認してください。 3. 長期間充電されていない場合は、蓄電池の残りの電量が低すぎるため蓄電池容量不足となる場合があります。 4. これらの確認を行っても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE019	蓄電池通信切断	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムを再起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE020	ファン故障 (RAC-01HB115/173 のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムを再起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE021	低温保護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外部温度が低すぎないか確認してください。 2. システムを再起動してください。 3. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE025	内部通信障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE026	インバーター EE メモリエラー	
IE027	RCD 故障	
IE028	グリッド側リレー故障	
IE029	自立運転出力リレー故障	
IE030	PV 逆接続保護	ただちにシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE031	充電器リレー故障	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
IE103	ARM EE メモリエラー	
IE104	DSP バージョン不一致	

■ バッテリー・エラー

コード	エラー内容	対処方法
BE001	蓄電池 外部通信障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムを再起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
BE002	蓄電池 内部通信障害	
BE003	蓄電池 過電圧保護	
BE004	蓄電池 低電圧保護	
BE005	蓄電池 充電過電流保護	
BE006	蓄電池 放電過電流保護	
BE007	蓄電池 高温度保護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 蓄電池の温度が正常な範囲に戻るまでおまちください。 2. システムを再起動してください。 3. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
BE008	蓄電池 低温度保護	
BE009	蓄電池 セル電圧差保護	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
BE010	蓄電池 ハードウェア保護	
BE011	蓄電池 回路故障	
BE012	蓄電池 絶縁不良	

■ 蓄電池エラー

コード	エラー内容	対処方法
BE013	蓄電池 電圧センサー故障	1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
BE014	蓄電池 温度センサー故障	
BE015	蓄電池 電流センサー故障	
BE016	蓄電池 リレー故障	
BE017	蓄電池 容量不一致	
BE018	蓄電池 バージョン不一致	
BE019	蓄電池 メーカー不一致	
BE020	蓄電池 SW/HW 不一致	
BE021	蓄電池 ソフトウェア不一致	
BE022	蓄電池に充電されない	1. 室内リモコンの「システム状態」で蓄電池に充電されていることを確認してください。 2. 確認後も同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
BE023	蓄電池スレーブ SW 保護	1. システムを再度起動してください。 2. 再起動しても同じエラーが発生する場合はシステム・オフにして、販売店または施工店にご連絡ください。
BE024	蓄電池 電圧検知エラー	

■ 主な仕様

型番	RAC-01HB58	RAC-01HB115	RAC-01HB173
構成	蓄電システム本体 (1台)	蓄電システム本体 (1台) 増設蓄電池ユニット (1台)	蓄電システム本体 (1台) 増設蓄電池ユニット (2台)
太陽光入力	最大入力電圧	450V/ 回路	
	MPPT 回路数	2 回路	3 回路
	MPPT 追従範囲	70 ~ 450V	
	最大入力電流	14A/ 回路	
系統連携時出力	定格出力電圧	単相三線式 101/202V	
	定格出力周波数	50/60Hz (自動切換)	
	定格出力有効電力	3kW	5.9kW
	定格出力電流	14.9A	29.2A
自立運転時出力	定格出力有効電力	3kW	5.9kW
	定格出力電圧	101/202V	
	定格出力周波数	50/60Hz (自動切換)	
蓄電池モジュール	電池搭載容量	5.8kWh	11.5kWh
	サイクル寿命	8,000 回 (@80%DOD/25℃ /0.5C 充放電,60%EOL)	
	電池種類	リン酸鉄リチウムイオン電池	
寸法・重量	蓄電システム本体 : 749Wx1,627Hx289D(mm)/150kg(HB58), 157kg(HB115,HB173) 増設蓄電池ユニット : 640Wx897Hx289D(mm)/97.5kg		

塩害地設置について

■ 重塩害地とそれ以外の塩害地

本蓄電システムの設置可能場所を、以下のように定めています。

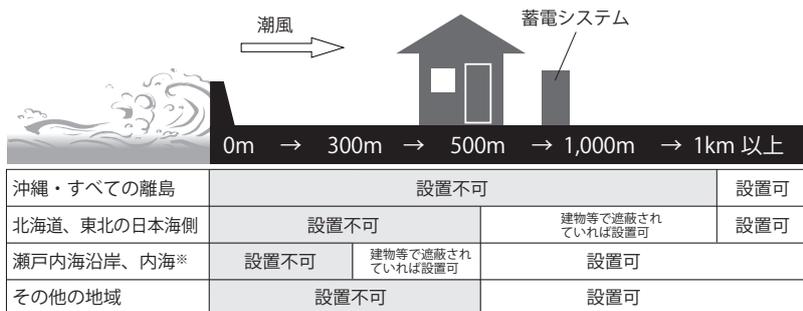
下図の「重塩害地」となる場所には設置できません。重塩害地以外の場所は設置可能ですが、塩害を避ける設置を行ってください。

内海となる場所：瀬戸内海、東京湾、伊勢湾

外海となる場所：内海以外の場所

● 直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場所

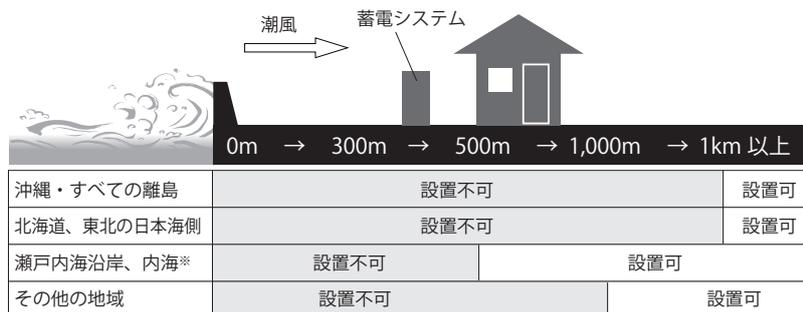
建物等にさえぎられて蓄電システムに直接潮風が当たらない場所では、区分は以下のようになります。



※瀬戸内海沿岸は大阪湾、紀伊水道を除く。東京湾、伊勢湾を含む。

● 直接潮風が当たる場所

建物等の遮蔽物がなく蓄電システムに直接潮風が当たる場所では、区分は以下のようになります。



※瀬戸内海沿岸は大阪湾、紀伊水道を除く。東京湾、伊勢湾を含む。

remixbattery

株式会社リミックスポイント レジリエンス事業部

【製品に関するお問い合わせ】

remixbattery コールセンター

TEL. 0120-123-160 (10:00-18:00 / 土日祝祭日・年末年始を除く)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-9 住友新虎ノ門ビル2F

E-mail info-remixbattery@remixpoint.co.jp